

## 1. 今回の事故の概要について

■事故発生日時：2019年2月3日午前9時50分ごろ

■場所：恵那市笠置町毛呂窪の山林

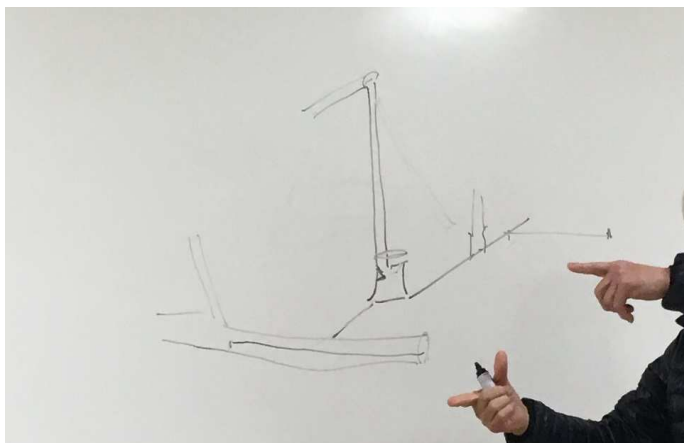
■事故発生時の状況：

- ・山主さんを含め3人で薪づくりのために作業。
- ・現場に入って一本目の伐倒で、伐倒は被災者1人で作業していた。
- ・谷側へ大きく傾く強度の偏心木であったが、「追いヅル伐り」ではなく、通常の追い口伐りを選択していた。
- ・径が大きかったため覗きこむような体勢で伐っていた時に、突然幹が縦に裂け、裂けた木が首より上に跳ねあがって激突したと推測される。
- ・樹種はアベマキ。高さ約30m 株元直径55センチ

■原因分析

南側斜面谷側へ大きく枝を張った強度の**偏心木**であったが、下記の**注意・認識不足**が推測される。

- ① バーバーチェア現象（幹の裂け上がり）が起こることへの認識不足
- ② 樹種（針葉樹含む）による特性の違いに対する認識不足
- ③ 受け口が小さい。裂け防止（幹にワイヤーを巻き付ける等）が不十分。
- ④ 「追いヅル伐り」等偏心木を伐倒するのに必要な技術がなかった、もしくは選択しなかった
- ⑤ 作業場所・退避場所の整備と確保がなされていなかった



### 【バーバーチェアとは？】

「バーバーチェアとは、追い口を切っている最中に、ツルの後ろから上に向かって幹が裂け上がること」（『伐木造材術』ジェフ・ジェプソン著、94頁）

床屋（バーバー）の椅子（チェア）のように、背もたれがカタンと倒れることを模した表現。



■解説図

